



すくすく おっぱい通信 第19号

平成30年6月号

第10回 市民公開講座が開催されました

6月に入り、紫陽花が見頃を迎えています。皆様いかがお過ごしですか。

3月17日に、小児科の鈴木力生先生(5月末退職)による市民公開講座が開催されました。これから出産を控えている方、それをサポートするご家族(ご主人、祖父母など)の方々に、120名もの参加がありました。お子様の参加もあり、明るく賑やかな雰囲気の中での講演となりました。鈴木先生からは、「発熱・嘔吐・けいれんの際の対応方法」「乳幼児の事故防止」「健診でよくある質問」等について具体的な講義をしていただきました。



講演後のアンケートでも「実生活に活かせる講演だった」「具体的な事故防止のポイントが良かった」「子育てに対しての緊張感が緩和された」という声が聞かれました。

会場では、当院の母乳育児についてもポスター展示を行い、市民の方々と交流を図ることができました。次回はさらに多くの声を聴けるように展示物やコーナーの作り方を工夫していきたいと思っています。

今後も育児支援を充実させるため、赤ちゃんとお母さんだけでなく、お父さんをはじめとしたご家族、そして地域の方々も巻き込んでいけたらと考えています。そのために病院勤務の助産師である私たちに何ができるのか、深く考え実践につなげてゆきたいと思います。

